

たのの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒 781-6410 高知県安芸郡田野町 1414-1

TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 大介
(題 字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com> E-Mail: info@usui-kai.com



「 姫とうがらしの雪晒し(岡山県鏡野町) 撮影者:岡崎 裕行 様 」

新年あけましておめでとうございます

院長 白井 大介

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。今年には田野病院開院41年目になります。これまで様々な方のご支援やご協力を得て、東部地域の医療、介護に貢献できたことを大変嬉しく思います。

さて、2026年には診療報酬の改定があり、今回は12年ぶりのプラス改定です。もちろんプラス改定自体は喜ばしいことですが、そもそも12年間上がっていません。この12年間でどれだけ物価や公共料金が上がったのか。消費税も10%になったのは2019年です。この間の出来事です。人件費や材料費、光熱費、燃料費などは高騰しているのに収入は減らされてきたわけですから、厚生労働省の2024年度調査結果で民間病院の6割近くが赤字経営であるというのも当然でしょう。ご存じない方もいらっしゃるかと思いますので説明すると、病院の収入は診療報酬で細かく規定されていて個々の病院が自由に値上げすることはできないのです。他業種であれば販売価格や利用料金にコスト増を反映することも可能で

すが、病院ではそれはできません。

新年早々暗い話ですが、今の「フリーアクセス」、つまり、いつでもどこでも自由に病院にかかることができるという時代は過去のものになる恐れがあります。このままでは、かかりたくても近くに病院がないという地域は、人が集中する都市部を除いて全国各地でますます増えていくでしょう。

医療や介護は、そこで暮らす人々が安心して生活していく上で欠かすことのできないインフラだと考えています。取り巻く環境はまだまだ厳しい状況ではありますが、地域医療の灯をともし続けることができるように、本年もより一層の努力をして参る所存です。どうぞよろしくお願いたします。末尾になりますが、皆さまにとりまして健康でより良い一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。





新年のあいさつ



副院長 兼
小児科部長
島崎 洋成

新年あけましておめでとうございます。今年の正月は疲れを自宅で癒していました、皆様いかが過ごされたでしょうか？
昨年は巳年で振り返れば個人的には体調不良もあり、ヘビとの相性はあまり良くなかったようです。
さて気分も変えて今年は午年です。馬は古来より、人と共に歩み、力強く前へ進む象徴とされてきており、皆様とともに手綱をとりながらも競走馬でなくともんびり闊歩したいなと思っています。それと今年は干支で丙午にあたるということです。
仕事柄人口動態もみたりしていましたので丙午？と聞くと1966年に迷信（江戸時代から丙午生まれの女性は気性が炎のように激しく、夫の命を縮めるといふ）の影響で出生数が前年数約25%も激減した年の事を思い出しました。現代は世相も変わりアンケートではこの迷信を気にしないという層が8割くらいとのこと、あまり影響はないだろうと思っています。ただ少子化が進行するなか少し気になった話題でした。
少子化は高知県において約20年前に比べて出生数は半減しており特に中芸地区でも顕著です。地域医療、行政においても難題は山積みですが、午年に絡んで、少しでも前進する年である事を願っています。皆様に幸ある年でありますように！



副院長 兼
脳神経外科部長
井川 直樹

新年、明けましておめでとうございます。昨年は一昨年に左腕と頸部のしびれ、痛みに苦勞した頸椎症性神経根症もすっかりと良くなり休日は趣味のゴルフに真剣に打ち込みましたが上達はあまりありませんでした。日頃は外来診療で座りっぱなしで運動不足なのでたくさん運動ができてよかったなど前向きに考えることとして、本年もくじけずに頑張るつもりです。
診療におきましては当院ものわれ外来においてアルツハイマー病による認知症や軽度物忘れの進行を予防していく抗アミロイドβ抗体薬投与ができるように準備をすすめて施設基準が満たされました。私自身も研修を受けたり学会に参加したり勉強してきました。6ヵ月間は高知市内の初回投与可能施設へ通院の必要がありますがその後は当院で治療の継続が可能となりました。物忘れや認知症での不安やお困りのある方はお気軽にご相談ください。
本年も引き続き頭痛外来・物忘れ外来・めまい診療・脳卒中救急受け入れなどに力を入れ、少しでも地域住民の方たちのお役に立てることができるよう頑張っていくつもりですので、本年もよろしく願っています。
皆さまとご家族のご健勝ご多幸を祈念して新年のあいさつとさせていただきます。



事務長
吉松 誠爾

新年明けましておめでとうございます。日頃より当法人の運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
近年、医療介護現場を取り巻く環境は、人手不足や物価高騰など厳しさを増すばかりですが、職員一人ひとりが努力と協力を重ねながら日々の業務に向き合い続けており、地域の医療介護を支えようと奮闘する職員をリスペクトすると同時に、私自身が大きな活力をもらっています。また、そんな中でいただく患者さんやご家族からの「ありがとう」の言葉や、地域の皆さまの温かいお声が、私たちの何よりの励みとなっています。引き続き多くのお声をいただけますと幸いです。
先月は、創業40周年記念を兼ねた忘年会を開催しました。職員を家庭で支えてくれているご家族も招待し、大勢の楽しそうな笑顔を見ることができました。同時に、これだけ多くの職員とその家族を守っていくかなければならない、という気持ちを改めて持つ機会となりました。
これからも、互いに思いやりや感謝の気持ちを持って協力し合える病院文化を醸成するとともに、職員採用、医療DX、業務効率化を推進し職員がより専門性を発揮できる職場環境の整備に努めます。地域医療、介護の継続に向け取り組んでまいりますので、本年もどうぞよろしく願っています。



午年は、力強く前へ進む年と言われています。一人ひとりの想いと行動をつなぎ、地域に信頼される歩みを重ねてまいります。今年も宜しく願います。



副看護部長

岡林 純賀子

新年あけましておめでとうございます。高知県東部の地域医療を支えるため、関心・感謝・思いやり・対話・行動の5つを大切に、患者様には選ばれる看護を目指し、職員一丸となって努めてまいります。本年もよろしく願います。



看護部長

岡本 直樹

新年明けましておめでとうございます。本年も凡事徹底に努め、感謝・感謝・思いやり・対話・行動を大切に、職員が互いに支え合いながら成長できる職場づくりに取り組みます。健康に留意し、良い一年を。

経営企画部長
総務課長

安岡 将一

新年あけましておめでとうございます。新年の抱負として、外来部門では引き続き「患者さま第一主義」に徹した医療サービスを提供し、患者さまへの「目配り、気配り、心配り」を忘れず、少しでも心穏やかに受診できるよう努めます。

外来・中材手術部/
師長

西岡 美幸

新年あけましておめでとうございます。回復期では患者さんやご家族の思いや希望を大切に、心のこもった看護を提供できるよう多職種と連携して取り組んでいきます。今年もよろしく願います。



回復期リハビリテーション病棟/師長

外京 由美

新年あけましておめでとうございます。地域から信頼され必要とされる病院を目指し、皆さんにとって安全で安心できる場所であり続けられるよう、病棟全体で協力していききたいと思います。



西病棟/師長

西尾 真実

患者様には分かり易い説明を心がけ、不安の低減を目指し、いつでも安心して検査を受けて頂けるよう心掛けた行動をしています。また被ばく低減肺ドックCTも始めました。高知県2人目の認定技師が担当します。毎年の比較に撮影してみませんか。比べる物があると見つけやすいですよ。お勧めします！



放射線部/部長

中石 宇俊

新年あけましておめでとうございます。薬剤部一同、皆様の日々の健康を支えられる存在でいられるよう、心を込めて取り組んでまいります。



薬剤部/部長

斉藤 忠男

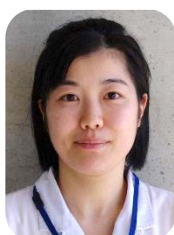
明けましておめでとうございます。スタッフの努力もさることながら、患者さまに育てていただいていると感じています。少しでも患者さまの生活が豊かになるよう、お手伝いをさせていただきます。本年もよろしく願います。



リハビリテーション部/部長

細田 隆之

明けましておめでとうございます。食事提供と栄養管理を通して皆様の健康に寄与できるよう頑張っていきたいと思っております。本年もよろしく願います。



栄養部/主任

小松 華子

地域の社会資源力を地域の皆様とともに高めていく一助となれますよう、患者さまやご家族の声をケアや支援の質に反映していきます。

地域医療連携室/
室長

今井 恵美

本年も安心していただける検査を丁寧に行います。皆さまの健康を支えられる一年となりますよう努めてまいります。



臨床検査部/部長

水原 世起



利用者の皆様、住み慣れた御自宅で、安心して生活を送れるように取り組んで行きますので宜しく願います。

訪問リハビリテーションの/
サービス提供責任者

池内 昭友

昨年は体制の変化もあり、ご心配をおかけした場面もあったかと存じます。本年もチーム医療・介護を推進すると共に、地域に求められる事業所を目指し、新たな気持ちで職員一同より良いサービスを提供してまいります。

在宅サービスの/
サービス提供責任者

岡崎 修仁

新年あけましておめでとうございます。医事課一同さらなる正確性と迅速な対応を目指して参ります。診察時はマイナ保険証(マイナンバーカード)にご協力ください。本年もよろしく願います。



医事課/課長

佐古 拓斗



令和 7 年度

地域医療研修

当法人にて、地域医療研修に取り組まれた
研修医の先生をご紹介します。

- 1 今回の研修で学び得たことを教えてください。
- 2 医療法人臼井会(田野病院)のイメージを教えてください。
- 3 今回の研修を経て、改めて、どのような医師をめざされますか？
- 4 今後の抱負をお聞かせください。



おおにし ゆき
大西 由記 研修医

(高知医療センター)

研修期間

令和 7 年 10 月 6 日～10 月 31 日

出身地：高知市

出身大学：高知大学

趣味：食べること、動物・植物園に
行くこと、たまに釣り

1 寄り添うとは何か、患者さんたちが地域で生活するために具体的にどんな医療・介護が提供されているのか直接見て勉強できました。

2 急性期から回復期、特別養護老人ホーム、デイサービス、訪問診療、リハビリテーションなど、あらゆる段階でのサポートが充実していると感じました。

3 医学的問題以外にも、患者さんごとに様々な問題がある場合が多いと実感し、最大限により良い生活を送れるような手助けができる医師になりたいと思いました。

4 医学的知識を学ぶのはもちろんですが、患者さんの困りごとに柔軟に対応できるように、施設や制度の仕組みについても知っておこうと思いました。自分が将来どのような働き方をするのが一番患者さんのためになれるのかを考えたいと思います。

外来見学では短い時間で過不足なく丁寧な説明をされているのを見て、すぐに出来るようになるものではないと思いますが、たくさんの経験を積んで出来るようになればと思いました。



みやじ ひろき
宮地 博紀 研修医

(近森病院)

研修期間

令和 7 年 12 月 1 日～12 月 26 日

出身地：高知市

出身大学：高知大学

趣味：ランニング、体を動かすこと
温泉

1 地域との関わりの重要性、地域を知ること(土地勘含めて)が重要だと感じました。病棟管理についても医師や看護師の方から知識面でも、技術面でも教わることで良かったです。スタッフが不足しているといわれる地域だからこそ、より連携の重要性が必要だと感じました。

2 明るく、活気のある病院だと感じました。院長・会長はもちろんのこと、皆さんが活発に働かれているところだと感じました。また病院がきれいで清潔感のある所でした。

3 コメディカルの方と協力して患者さん主体の医療を提供できる医師になりたいと改めて思いました。その中でも患者さんとの関係はしっかりと良好なものにして、パターナリズムにならないように気を付けたいと感じました。また、やはり初期対応などの基礎的な知識であったり、技能であったりは何科に進むにしても必要な知識だと思うので研鑽を積みみたいと感じました。

4 まずは、初期研修をしっかりと終わらせ、後期研修が行えるようにします。その上で、初期研修のうちにしか目をむけることのできないこと(コメディカルの方の仕事、幅広い診療科のこと)もたくさんあると思うので、残りの時間を有効活用したいと思っています。今後、中芸地区で働くこともあるかもしれませんが、その際はよろしくお願いいたします。



院内災害研修

看護部

当院では、事業継続計画(BCP)に基づき、11 月から 1 月にかけて院内災害対策研修を継続的に実施しています。

研修では BCP の内容を検討し合い、知識を深め、災害時にスムーズな対応が取れるように座学や実技の訓練を行っています。

3 回目の研修となる今回の内容は『患者さまの搬送方法、安全の考え方』でした。

南海トラフ地震を想定した場合、発生時には大規模な津波が予想されます。その津波が当院に到達するまでの時間は、最短で 20 分程度と想定されています(高知県ホームページより)。

2 階に入院している患者さまを素早く安全に 3 階まで避難することをテーマに、ご自身で歩く事が出来ない患者さまを搬送する為に、車椅子や毛布、ベッドシートを利用した搬送方法について実技訓練を行いました。

その他、避難先の 3 階で医療機器や医療ガスが必要な患者さまの治療は継続出来るように、設備の確認や意見交換を行いました。

参加したスタッフの皆さんお疲れ様でした。引き続き大規模災害に備えて、研修や訓練を実施していきたいと考えています。

外来・中材手術部/看護師 原一真(日本 DMAT 隊員)



リハビリテーション部



先日初めてリハビリテーション部で南海大地震を想定した災害訓練を行いました。訓練では患者役とスタッフ役に分かれ、歩ける患者さま・酸素や点滴治療中の患者さまは病棟 2 階へ、車いすの患者さまはリハビリ棟 2 階へ避難誘導を行いました。訓練前はスムーズに訓練を終えられることを想定していましたが、実際は車いすを担いで通るだけでも通路は非常に混み合い難渋しました。また車いすを担がれることは、思っていた以上に恐怖を感じ、その中で患者さま役が声を掛け合ったり、スタッフ同士が笑顔で不安を和らげようとする場面を見て、一つのチームとして動いていると思いました。

今回の災害研修では、災害時に求められる判断能力と行動力の必要性を改めて実感しました。特に初動対応の演習では、限られた情報の中で迅速に優先順位を決める難しさを体験し、日々の備えの大切さを強く感じました。また周囲との連携が安全確保に直結することを学び、普段からコミュニケーションを意識する必要性を認識しました。

南海トラフ巨大地震はいつ来てもおかしくない、ゆえに備えは今日出来る最善の盾だと考えています。今後も日頃から備えを見直し、地域や職場で役立てられるよう意識して行動していきたいです。

リハビリテーション部/言語聴覚士 久保沙也香

大忘年会 & 40 周年祝賀会

12 月 19 日、一寿司会館にて忘年会と 40 周年記念祝賀会を開催しました。

当日は職員に加え、来賓や取引業者の皆さまにも多数ご出席いただき、盛会に執り行うことができました。

会の中では、職員が所属するよさこいチーム『祭屋』による演舞や、リハビリテーション部による余興が披露され、会場は大いに盛り上がりしました。

また、恒例の大抽選会では、参加者の約半数が当選するなど、終始笑顔あふれるひとときとなりました。

40 周年という節目を迎えられたことは、地域の皆さまをはじめ、多くの方々の支えがあってこそと、あらためて感謝申し上げます。

これまで培ってきた信頼と経験を大切にしながら、40 周年を新たなスタートとし、次の 50 周年を見据え、これからも職員一丸となって地域に寄り添い、信頼され続ける医療・介護・サービスの提供に努めてまいります。



あいさつ

よさこい



大抽選会



余 興



一本締め



2025 年 MVP

忘年会にて、2025 年サービス向上委員による、『部署 MVP』表彰を行いました。
今回の部署 MVP は、職員の声広場(職員や患者さまから寄せられた前向きなエピソードを掲示板に報告)に上がったものをもとに、特に褒められた3部署、また他部署をよく褒めていた3部署を表彰したものです。

日々の小さな優しさや気遣いを、みんなで認め合い、支え合うこと。その積み重ねが、当院の雰囲気をつくっています。

表彰は、そんな前向きな行動をみんなで讃え合う大切な機会となりました。



部署 MVP

褒めたで賞

- 1 位 経営企画部総務課
- 2 位 外来・中材部
- 3 位 地域医療連携室

褒められたで賞

- 1 位 西病棟
- 2 位 リハビリテーション部
- 3 位 経営企画部総務課



昨年 4 月に OPEN した職員向けフィットネスジムを活用し、『Inbody 選手権』を開催しました。

現在 101 名の職員および非常勤医師が登録し、有酸素運動や筋力トレーニングに取り組んでいます。今回は 30 名がエントリーし、期間内での『筋肉量 UP』や『体脂肪率 DOWN』の成果を競い、特に顕著な変化がみられた職員については、MVP として表彰しました。

今回のイベントをきっかけに、職員の健康意識の向上や運動習慣の定着、職員同士の交流促進につながることを期待しています。

当院では今後も、体調維持や体力向上をサポートできるよう、さまざまなイベントを企画していきたいと思います。

経営企画部総務課 楠目志麻

各種表彰



医療機関向け BCP 啓発セミナー

薬剤部/部長 齊藤忠男(日本 DMAT インストラクター)

10 月 10 日高知県主催のオンラインセミナーにて、当院の BCP 改訂の取り組みについて講演する機会をいただきました。

当院では、災害時に「実際に動ける BCP」を目指して、訓練を通じて計画の見直しを続けています。講演では、職員の意見を取り入れながら作成しているアクションカード形式の BCP について紹介しました。

特に、

- ・行動の優先度が一目で分かる工夫
 - ・トリアージの考え方を取り入れた行動順序の整理
- といった、実務に根ざした改善点に多く関心を寄せていただきました。

今回の講演で、当院の取り組みが少しでも他施設の参考になれば幸いです。

当院は、今後も災害に強い医療体制の構築を目指して、引き続き BCP の強化と実効性の向上に努めて参ります。



※高知県

医療機関業務継続計画(BCP)策定率 8 割超
BCP に基づく訓練実施率 6 割強

2025.11.28
読売新聞オンラインで、
当院の BCP 事例
が紹介されました。

通信手段の確保

★必ずすること★

- 通常回線が使用可能か自身の携帯電話などにかけて確認する
- 増築棟3F災害倉庫より衛星携帯電話 2 個、トランシーバーの保管ケースを持ってくる
- 院内PHSが利用可能かかけて確認する

★赤項目終了後に出来る限り行う事★

- 通常回線が使用可能であれば西館1階医事課、東館2階回復期リハビリテーション病棟諸所カウンターにある災害時優先電話が使用可能か自身の携帯電話などにかけて確認する
- 衛星携帯電話が通信可能か自身の携帯電話などにかけて確認する
- すべてのトランシーバーのチャンネルをCh01に合わせて使用可能か確認する

★黄項目終了後、わかる人が到着したら★

- 衛星携帯電話に接続可能なパソコンを持ってくる(薬剤部ノートPC、もしくは西館3階総務課にあるノートPC)
- 衛星携帯電話(ワイドスターII)を用いてインターネットに接続する(手順書は本体同封)
- アマチュア無線の有資格者がいれば、無線機器の準備を行う(無線機器は西館3F総務課にて保管)

回リハ音楽会～秋の音楽会&クリスマス音楽会～

回復期リハビリテーション病棟/看護師 弘末小雪

秋・冬のハンドベル演奏会開催にあたり、練習を重ねて発表に臨みました。

学生時代とは違い、「好き」とか「楽しい」という純粋な気持ちで練習出来ました。

聴いてくれる方がいてこそその演奏です。入院生活は大変なこともたくさんありますが、どなたかの励みになっていれば幸いです。

これからも私達に出来ることを模索していきたいと考えています。開催にあたり、たくさんの方の応援やフォローを頂きまして、本当にありがとうございました。



たのたの

楽楽けんこう隊

「感染症対策」10月22日 外来看護師 武政静香

「防災について」12月24日 薬剤師兼国際緊急援助隊員 斉藤忠男

「おやつについて」11月26日

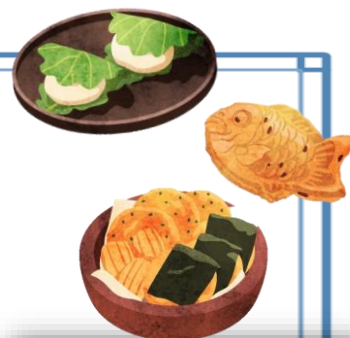
栄養部/管理栄養士 塩田雪月・山本瑠奈

11月の^{たのたの}楽楽けんこう隊は”おいしく食べて健康に！～おやつと上手に付き合う方法～“というテーマで講演をさせていただきました。

発表中は緊張したものの、聞きに来てくれた方々が頷いてくれるなど、クイズに積極的に参加して下さったおかげでとても充実した講演となりました。

選び方や量、時間といった正しいおやつの知識を大勢の前でお伝えするのは初めての試みでしたが、管理栄養士目線で日頃の悩みに寄り添う情報提供の機会を少しずつ増やしていくことが重要だと実感することができとてもよい体験となりました。

管理栄養士 塩田雪月



毎月第4水曜日
新棟1階待合室
13:00～13:30



「温泉利用運動プログラム」

令和8年1月28日 理学療法士

「地域医療について」

令和8年2月25日 社会福祉士

「認知症について」

令和8年3月25日 医師・看護師

★材料

切り餅1個あたり:エネルギー約160kcal

たんぱく質 3.2g 塩分量 0.9g

・切り餅 3個

【わさび醤油味】 切り餅 1個分

・しらす 小さじ2 ・ねぎ 適量

・しょうゆ 小さじ1/2 ・わさび 適量

【カレーマヨ味】 切り餅 1個分

・白菜 少量 ・チーズ 適量

・カレー粉 小さじ1/3 ・マヨネーズ 小さじ2

【コチュジャン味】 切り餅 1個分

・ウインナー 1本 ・コチュジャン 小さじ1.5

★作り方

①切り餅は厚さを半分に切る。

②【わさび醤油味】

Aを混ぜあわせ餅の上にのせる。

【カレーマヨ味】

Bを混ぜ合わせ餅にぬり、刻んだ白菜とチーズを盛り付ける。

【コチュジャン味】

コチュジャンを餅にぬり、小口切りにしたウインナーをのせる。

③アルミホイルの上に②を置いて、トースターで6～8分程度焼く。

残りものモチピザ

管理栄養士 塩田雪月



★ポイント

冷蔵庫の残りもので、できるお餅のリメイクレシピにしてみました。

お餅にのせる具材はお好みの食材でOK!

簡単なレシピになっていますのでぜひ作ってみてください。

東部・中芸地区

ワカモノ運動会で田野病院が優勝しました！

経営企画部総務課 江口晃志

2025 年 11 月 22 日、田野町体育センターで開催された、ワカモノ運動会に参加しました。当日は、中学生、大学生、社会人と幅広いワカモノが集い、世代を越えてチームで競い合う活気あるイベントとなりました。

田野病院からもチームを結成して参加し、協力しながら各競技に挑戦した結果、見事優勝することができました。競技の合間には、田野病院についてのクイズも行われ、多くの方に当院の取り組みを知っていただく良い機会となりました。

また、当院の会長がスペシャルゲストとして参加し、運動会の締めくくりに挨拶を行いました。

運動会終了後には懇親会も開かれ、参加者同士の交流がさらに深まり、楽しい時間となりました。今回のイベントを通して、地域の皆さまとの繋がりの大切さを改めて感じました。



編集後記

”対話と行動“の行動指針を胸に患者さま 1 人 1 人に向き合う医療を深め、”ここで良かった”と安心していただける年にしてゆきます。

リハビリテーション部/作業療法士
森本一洋